

建物概要

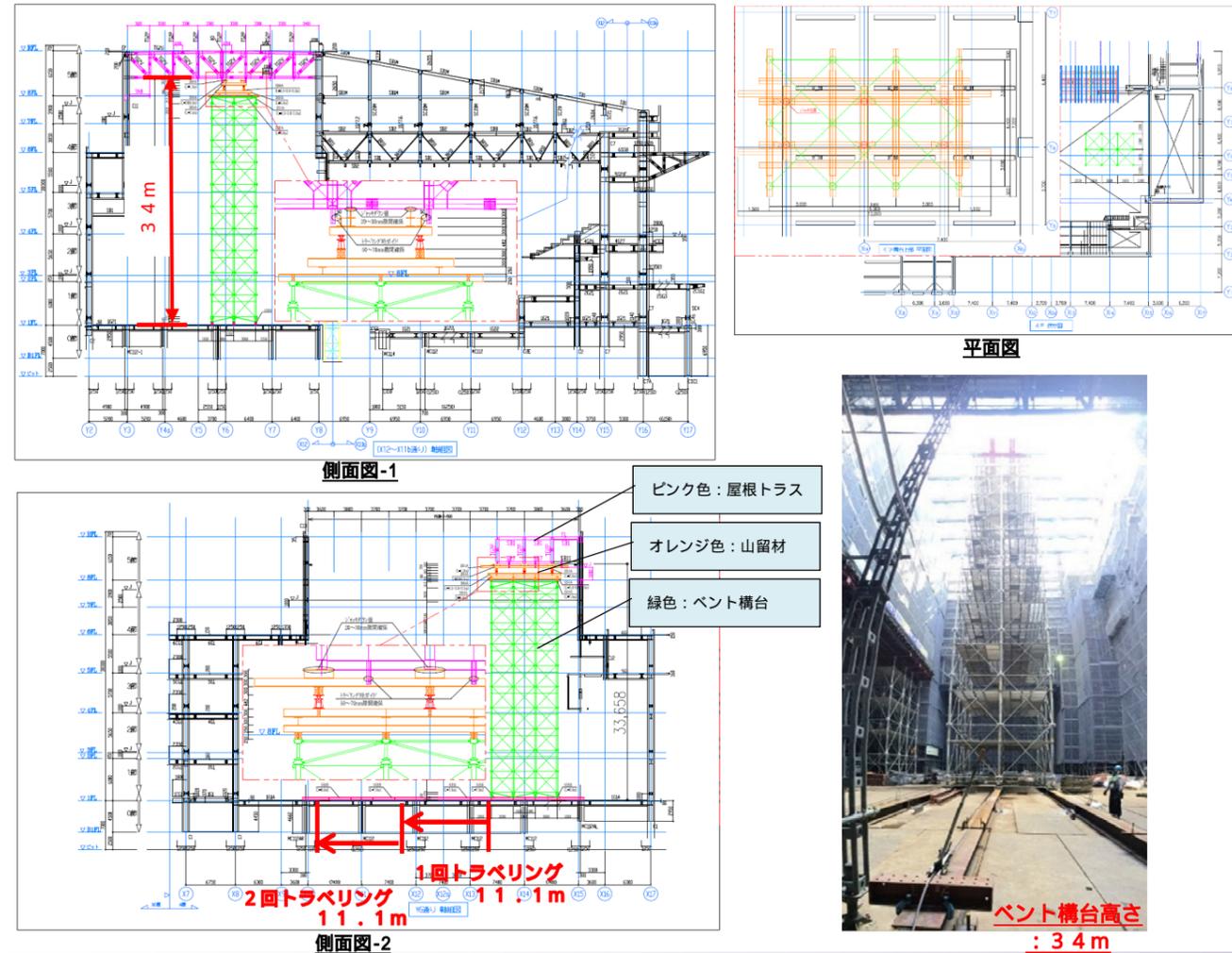


工事名称	高崎文化芸術センター（仮称）建設工事
所在地	群馬県高崎市栄町 79 番 3
建築主	高崎市
設計・監理	株式会社 佐藤総合計画
施工	竹中・東鉄・佐田 特定建設工事共同企業体
工期	2016年11月1日 ~ 2019年6月14日
建物用途	多目的ホール・飲食店
構造	RC, SRC, S 造
階数	B1 階, F8 階
建築面積	8,826.01 ㎡
延床面積	27,355.15 ㎡
工法	トラベリング工法（施工期間 2018/10/1 ~ 2018/11/30） 内容：メインホール舞台屋根トラス鉄骨建方用 ペント構台トラベリング ペント重量：60 ton ペント高さ：3.4 m 移動距離：11.1 m x 2 回 ペント平面積：54.0 ㎡ 牽引装置：手動チルホール（3.2 t）x 2 台・補助 1 台 ワイヤー径：16.3 mm レール・滑り材：H350・RoRo 専用ローラー ペント：RoRo-S50（ヒロセ技研）

トラベリングの目的

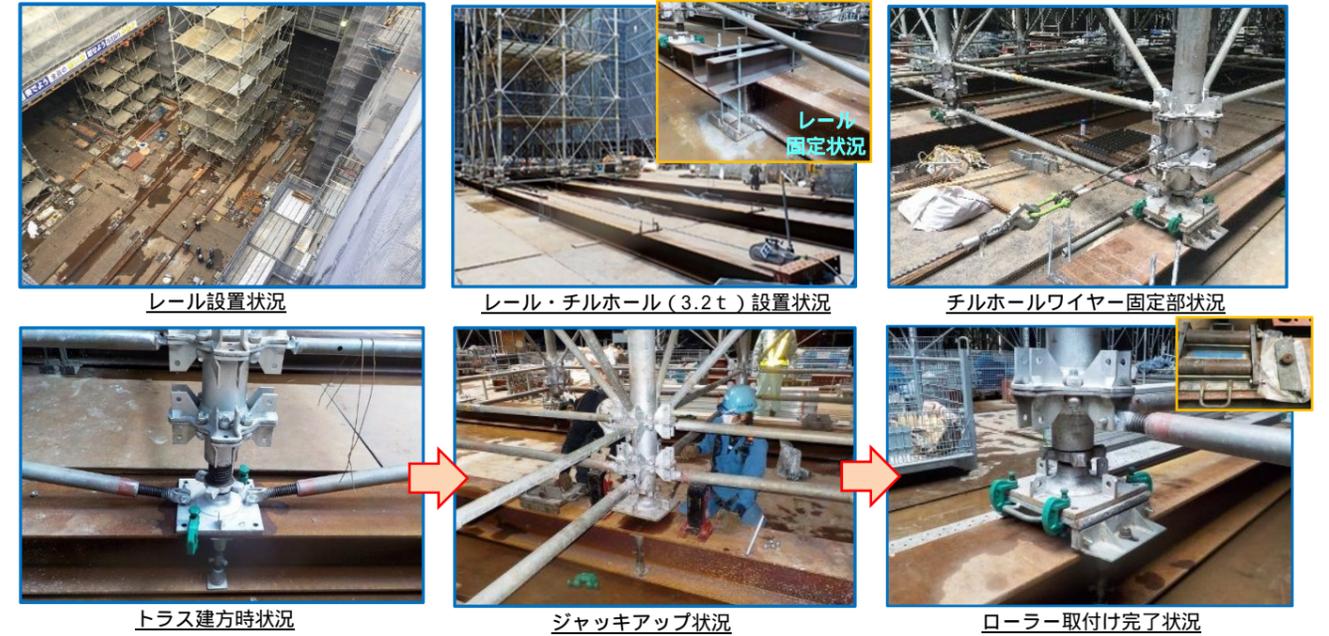
メインホール舞台側の屋根トラス鉄骨建方では、RoRo-S50（ヒロセ技研）のペント構台とその上部に山留材を採用した。1階の施工ヤードの有効活用と、客席側施工動線の確保を目的とし、屋根トラス3列分を建方できるだけの部分的なペント構台の組立を行い、3列建方完了後に上部受け材のジャッキダウンを行い、レール（H350）を延長、滑り材の取付けを行い次工区へのトラベリングを行った。トラベリング完了後にはローラー撤去を実施した。

概要図



軌条(レール)・牽引装置・滑り材

軌条（レール）は、H形鋼-H350を3列敷設し、ペント構台重量60tに対し、牽引装置はレール3列の両端に手動チルホール（3.2t）x2台を設置し滑り材にはRoRo 構台専用のローラー（摩擦係数：0.05μ）をトラベリング直前に1カ所ずつジャッキアップして設置し、トラベリングを実施した。補助的にレール3列あるうち中央部にチルホールをもう1台使用し、作業を進捗させた。管理値としては、進行方向差（下部）：両端30mm以内・ローラー横ズレ：30mm以内・構台上下部との移動量差：200mm以内で実施した。また、トラベリング時には、転倒防止として構台上部と躯体を4台のチルホール（1.6t）で緊結し、ワイヤーの張り具合を随時調整しながら実施した。



施工写真

